

25年度春の地区大会(女子)

女子団体 県総体出場権獲得!

2R 県立柏2-1東葛飾

準決勝 県立柏0-3麗澤

3位決定戦 県立柏1-2柏南

*県総体の出場権がかかった東葛飾戦ではダブルスの高田・東福ペアが、直前の練習試合では1-6で敗れている東葛飾ペアに序盤3-0リードする展開になりました。その後東葛飾ペアも地力を発揮し始め3-3に追いつかれる展開となりましたが、いやな流れをなんとか食い止め7-5で勝利しました。この試合は彼女たちのキャリアの中でもベストマッチだったと思います。第1シングルの益子さんもほとんどのゲームがジュースにもつれる大接戦となりました。特に2-3で迎えた相手のサービスゲーム40-15の大ピンチをしのぎジュースの応酬の末3-3に追いつき、最終的には6-4で競り勝ち、この時点で県総体の切符を獲得することができました!



個人戦ダブルス 益子・花島ペアベスト8!

1R 益子・花島6-1柏の葉

2R 益子・花島6-2柏南

3R 益子・花島6-4麗澤

QF 益子・花島4-6麗澤(第2シード)

*1Rを勝利した後、前日の団体の3位決定戦で敗れている柏南のペアに6-2で快勝し勢いに乗りました。3Rは第7シードの柏陵ペアに勝利した麗澤のペアでしたが6-4で勝利しベスト8進出することができました。

県大会出場権のかかる準々決勝は第2シードの麗澤ペアとの対戦です。前日の団体シングルでは二人とも0-6で1ゲームも取れず負けている選手相手でしたが、なんと益子・花島ペアが終始リードする展開で4-2リードするところまでいきました。最終的には4-6で敗れ超大金星はなりませんでしたが、ノーシードからのベスト8は素晴らしい結果だと思います!



個人戦シングルス 益子さんがベスト16!

1R 益子6-0柏陵

2R 益子7-6(7)柏南

3R 益子1-6柏陵(第8シード)

*ベスト16をかけた試合は素晴らしい試合になりました。相手は柏南高校の1番手、常に相手にリードを許し追いつける展開となりましたが何とか6-6のタイブレークに追いつくことができました。(タイブレークとはゲームが6オールになったとき、先に7ポイント先取した方が勝ちとなるルールです)タイブレークも2-6と相手に4本のマッチポイントがある絶体絶命のピンチを迎えてしまいました。しかしここから強気に攻めはじめ何とか2ポイント返し4-6、まだ相手のマッチポイントが続く次のポイント、相手のバックハンドショットがネット上部にあたり、跳ね上がりました。そのまま県立柏側のコートに落ちれば試合終了です。ボールはなんとネット上でさらに2バウンドしたあと柏南側のコートにぼとりと落ちました。両校の応援団も息をのむ一瞬でした。その後、何とか6-6に追いつき、結局タイブレーク9-7でこの大接戦を勝利しベスト16を決めることができました。益子さんにとっても生涯忘れられない試合のひとつになることと思います。それにしてもテニス最後の1ポイントまで絶対あきらめてはいけないということを改めて思い知らされた試合でした。

12地区の個人戦は強豪校の選手層、出場数ともに多く上位に進出するのは難しいのですが、ダブルスベスト8、シングルスベスト16は素晴らしい結果です。彼女たちを含め8名の部員それぞれ自身の今できることを存分に発揮し本当によく頑張った3日間だったと思います。